

阿づまの光

A Z U M A N O H I K A R I



なにごとにもただかみ惟神かむながらかむながら惟神
神にまかせてベストつくさむ

【尊師 出口日出磨】



【北海道十金電海六台島土、北海道イチイ釉+金電海六台島松釉】
教主さまお作 灰釉茶碗「アララギ」

「飢病戦」を考える

大本総代 飯田俊明

私が尊敬する先輩とお話をしている時に、先輩が小さな声で「飢病戦」と発せられました。その時は気にもせませんでした。時が経つにつれ巻頭言に思う所を書くべきと考え筆を執りました。ロシアの無謀な侵略戦争が毎日のニュースになっているので先ず「戦争」について考えることにいたします。

戦争や紛争が起こる要因をまとめますと「アイデンティティの対立」「資源や権益の獲得競争」「政治権力をめぐる闘争」の三つが上げられます。ところが今回のロシアの戦争は「敗者のノスタルジアへの回帰。強い権力（ソ連）」が大きな原因ではないかと言われています。かつて大国だった国が目指す民族復興が紛争の原因ともなりえます。この要因が単純ではなく絡み合いながら戦争へと発展していきます。

過去の歴史から名前の残っている戦争や紛争は355あつて死傷者数は約5000万人、世界大戦（2度の世界大戦や日本の空襲、原爆）の被害者数を入れると億単位の死傷者が出ています。戦後の凄まじい兵器の進歩は見えない所で多くの人々を跡形もなく殺してしまう恐ろしさです。さて「病と飢」についても少し述べておきます。「病」は天然痘（唯一の根絶感染症）ペスト、インフルエンザ、結核、エイズ、マラリアなどの感染症が主なものです。マラリアなどで苦しんでいる人は世界で5億人いるといわれています。「飢」は過去数千万から数千万人単位での飢餓が起こってきました。現在も約7億人が飢餓状態にあります。先進国は食べ過ぎで死ぬ人がいかに多いか悲しい限りです。

大峠が到来し、その後三代教主さまの説かれた「飢病戦」のなにいゝみるくの世が到来します。人類が年間270兆円もの無駄な軍事費をいつになったら捨てるのでしょうか？



東光苑月次祭を執行

5月東光苑月次祭並びに、市杵島姫命例祭は5月8日午前10時30分から、齋主・柿崎哲男総務管理課長のもと執行され、185人が参拝した。

祭員は千葉主会ほか有志が、伶人は二絃の会関東支部、大本神論拝読は志村寿隆東京主会長が、東光庵では添釜が開かれ茨城主会が担当した**写真左**。

祭典後、橋本伸作東京宣教センター長があいさつを述べた。

なお、1階ロビーでは、日用品からネクタイ、小物等の東京直心会バザーが催された。



企業安全繁栄祈願祭

第40回企業安全繁栄祈願祭は、4月24日午前10時30分から執行され、56人が参拝した。

祭典では、大神奏上に続いて、市杵島姫命に「企業安全繁栄祈願祭祝詞」を奏上。全国から申し込まれた163社の企業名を読みあげ、世界経済はもとより、各企業の発展と繁栄、各企業またその会社に携わる社員の健康安全が祈念された**写真右下**。

祭典後、橋本伸作東光経友会代表幹事があいさつを述べた。なお祈願は、一週間、東光苑ご神前にて継続された。



東光苑オンライン講座

7月19日(火) 19:00～

いきいき輝く女性

～今、求められる女性の役割とは～

講師：奥村美知子（大本直心会長）



娘が親になったとき、「お母さんのような子育てをしたい」と言ってくれました。身体が弱かったので、いつまで我が子と一緒に過ごせるか不安でした。

そんな私ですが、今では高校生の孫とも出会っております。

子育てを通して体験、実践してきたこととお話しします。

大本東京本部ホームページをご覧ください！

令和4年度 春の叙勲

神奈川主会川崎分所長

齋藤力良さんが「瑞宝小綬章」



神奈川主会川崎分所長・齋藤力良さん(70)が令和4年度春の叙勲で「瑞宝小綬章」を受章しました。齋藤さんは元・川崎市副市長で、主に①横須賀線・湘南新宿ラインの武蔵小杉駅の誘致と周辺再開、②羽田空港と川崎市を連絡した多摩川スカイブリッジ構想計画・実施、③水素エネルギーの導入—などインフラ整備に貢献したことが、このたびの受章に繋がりました。

教主さまご臨席

～6月東光苑月次祭～

6月12日東光苑月次祭は、教主さまご臨席のもと執行されます。大勢さまのご参拝を心よりお待ちしております。

また、祭典後には、教主さまへのご面会をお許しいたきました。各機関長さま、東京本部直屬の方宛にご面会名簿用紙を郵送させていただきました。まだお申し込みいただいてない方には、お早めに各機関長さま(東京本部直屬の方は東京宣教センター)までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

※当日の本部駐車場は混雑が予想されます。お越しの際は、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

ご面会受付係(担当・柿崎哲男)

Tel 03-3821-3701 Fax 03-3821-5283

Mail t-kakizaki@oomoto.or.jp

7月 東光苑祭典・行事予定

10日(日) 午前10時30分
東光苑月次祭

19日(火) 午後7時～

東光苑オンライン講座(配信)

講題 いきいき輝く女性

～今、求められる女性の役割とは～
講師 奥村美知子(大本直心会長)

※コロナの感染状況に伴い、行事の延期や中止、祭典の参拝をご遠慮いただくなど、予定を変更する可能性があります。